

ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムのメンテナンスレポート

床材の性質

- 従来のリノリウム(ポリウレタン表面加工処理されていないリノリウム)と比較し、耐摩耗性に優れる。
 - 吸い込みはほとんどない(ただし、床表面のポリウレタン層が摩耗されると、吸い込みが非常に多くなる)。
 - 紫外線(自然光の照射)により、退色する場合がある。
 - 樹脂ワックスの密着性および耐水密着性(水などの影響による樹脂ワックスの剥がれにくさ)に劣る。
 - 耐洗剤性に劣る。
- ※アルカリ性ハクリ剤によって変色することがある。

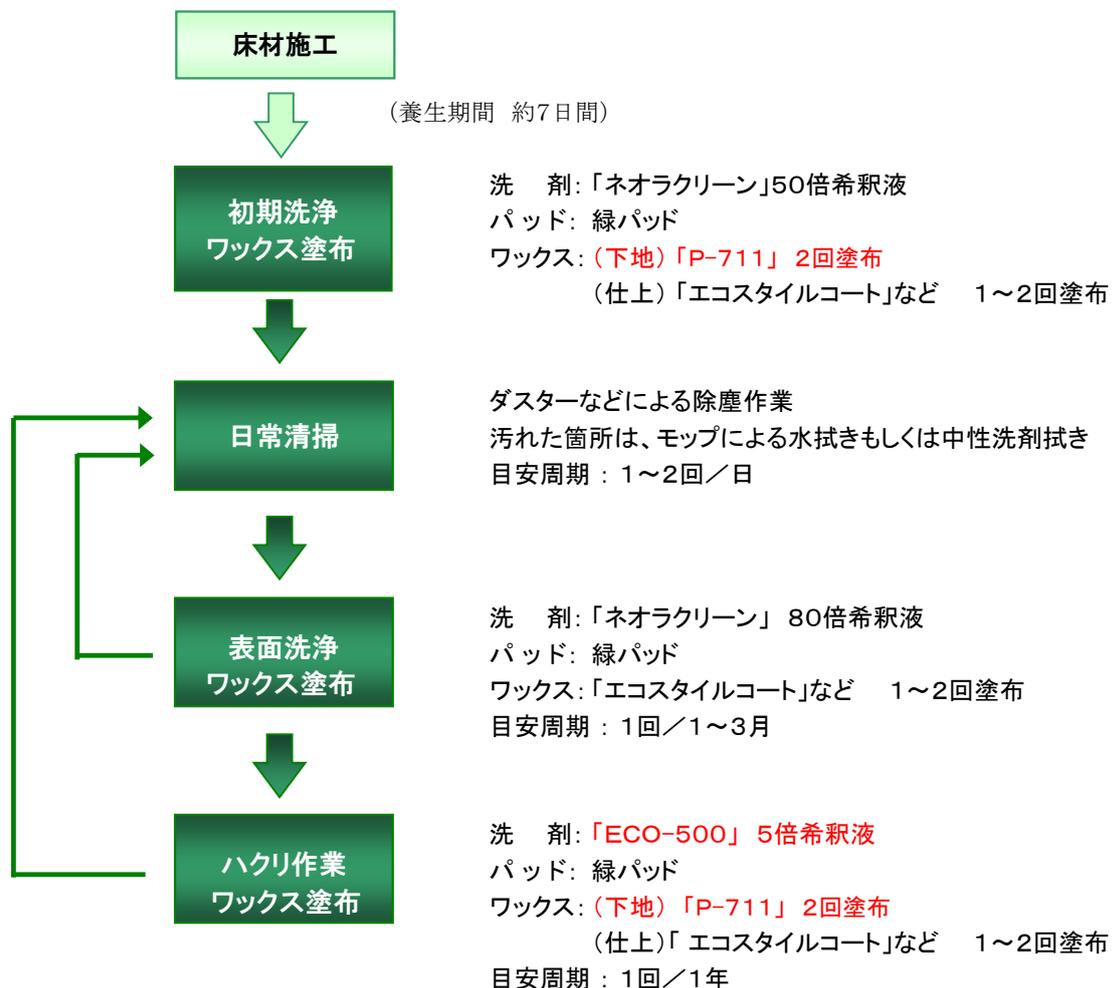
メンテナンスポイント&注意点

ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムは、樹脂ワックスの密着性(特に耐水密着性)に劣るため、この種の床材に対し、密着性(耐水密着性)に優れた樹脂ワックスを選定しなければなりません。したがって、**必ず密着性に優れた「P-711」を下地に塗布してから、仕上用樹脂ワックスを塗布**します。また、リノリウムはアルカリ性ハクリ剤で変色しやすい床材のため、**ハクリ作業の際は中性ハクリ剤「ECO-500」を使用**します。

仕上用樹脂ワックスとしては、中性ハクリ性でも除去可能な(ハクリ性に優れた)「パーモソフトテカ」「エコスタイルコート」「パーモスタープロEX」などを使用します。

なお、病院現場の仕上用樹脂ワックスとしては病院用樹脂ワックス「NEWアルテクト速乾」を使用しますが、下地剤「P-711」の影響でアルコール系手指消毒剤によるワックス皮膜の白化が起きることがあります。そのような場合は、アルコール系手指消毒剤で白化したワックス皮膜の修復剤「クリア リコーティング」を使用します。

メンテナンスサイクル例



メンテナンスポイントおよび作業方法

初期洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 床材施工後の養生期間を置いてから、本作業を行います。
- 床材表面に床材施工に用いた接着剤跡がある場合は、きちんと除去します。
- 引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、密着および耐水密着テストを行い、もし密着していない場合は、中性ハクリ剤でハクリ作業を行ってからワックスを塗布します。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きします。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた「P-711」を必ず2層塗布します。**
- ※下地剤の塗布が1層だけですと、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性に優れたものを選定します。

作業手順



日常清掃

ポイント

- 帯電モップは帯電剤が床面に移り、汚れの原因となることがあるので使用は避けます。
- ヒールマーク汚れは、モップなどで擦り落とします。
- 洗剤を使用する場合は、樹脂ワックスに影響のない中性洗剤を使用します。
- 雨天時は、雨水による汚れや滑りによる転倒防止のため、雨天時用マットを設置し、持ち込まれた雨水や土砂は早めに取り除きます。
- 広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

モップ拭き

＜水拭き用モップ、必要に応じ中性洗剤（「NEWプロインパクト中性」など）を使用＞

・汚れた箇所やヒールマーク汚れは、モップで拭き取ります。

*油汚れが多い現場は、中性洗剤（「NEWプロインパクト中性」50倍希釈）を使用します。

表面洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 光沢の低下や汚れが目立ってきたら、本作業を行います。
- 洗剤を希釈する際は、計量カップなどを用い正しく希釈します。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- ポリッシャー洗浄でも落ちないヒールマーク汚れは、ハンドパッドで擦り落とします。
- 床表面が平らでなく不陸がある場合は、ポリッシャーで洗浄する際、横方向だけでなく、縦方向にも掛けます。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きします。
- ワックスを塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行います。

作業手順



ハクリ・ワックス塗布作業

ポイント

- 表面洗浄作業では、汚れが落ちにくくなったら、本作業を行います。
- ハクリ作業を行わない場所との境や、什器下に汚水が流れ込んでしまう場所は、養生マスキングで養生します。
- 中性ハクリ剤「ECO-500」を必ず使用します。**
 - ※アルカリ性ハクリ剤を使用すると、リノリウムを変色させてしまうことがあります。
- パッドは、リノリウムを摩耗させないよう緑パッドを使用します。
- ハクリ後(ポリッシャーがけ後)の汚水は、乾く前に素早く回収します。
- ハクリ後(汚水回収後)に水洗浄を行うと、ハクリ剤成分を完全に除去し、ワックスの仕上がりが良くなります。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた「P-711」を必ず2層塗布します。
 - ※下地剤の塗布が1層だけでは、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性に優れたものを選定します。

作業手順

